

NEWSLETTER

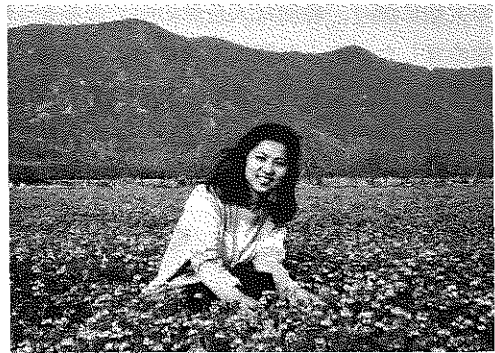
NO.2

岐阜大学国際交流室 1986年12月1日発行

私、私の国そして日本

Utomporn Kritsanee

私の名前はクリスタニー・ウツームポーンで、タイ人です。バンコクに住んでいます。日本に来るまでは、タイの文部省のある事務所で、教育の監督の仕事をしていました。みんな一緒にいろいろなカリキュラムを作って研究、改善しています。さらに大学の先生たちのために知識をいろいろ提供してあげます。特別に新しい教育テクニックも指導しています。



今月でちょうど日本に来て一年になりました。岐阜大学教育学部で勉強したり、研究したりしています。

タイは日本に比べると、いろいろな違いがあります。例えば気候、地形、言葉、生活習慣などです。実はタイは長い歴史があります。国のタイの意味は自由です。首都はバンコクです。境界では、西から北西に広がっているのがビルマで、北東にはラオスがあります。東にはカンボジア、そして南にはマレーシアがあります。陸は平野が多いし農業の国ですから、まだ自然の資源がたくさんあります。人口はだいたい5,000万人くらいです。日本に比べると、約半分です。国民は90%が仏教徒です。気候について言うと、わりあい暖かく、気温は19度から38度までで、季節は夏と雨期と冬の3つだけですが、冬は日本の秋とっしょで、あまり寒くないです。そして生活習慣はいろいろと違います。例えば食べ方や飲み方、お祭り、儀式などです。

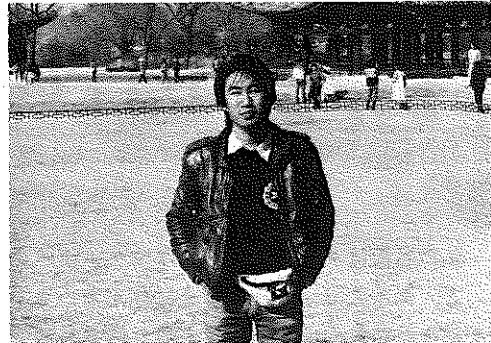
最後に言葉の違いは、タイでは字が44だけですが、日本ではひらがな、かたかな、それに漢字もたくさんあります。文章の作り方もぜんぜん違います。タイの文章は、まず主語、述語、目的語です。でも話し方は日本語とっしょで、尊敬語とか丁寧語とか謙遜の表現もあります。それらのことは先生や両親からよく教えてもらいました。若い人はあまり気にしない人も多いです。それから、タイ人ならみんなよく知っていることわざで『話し方

で人がらがわかり、行儀で育ちがわかる』と言うのがあります。

ところで、私はあともう5カ月ぐらいでタイへ帰ります。いろいろな知識と経験ができて、とても楽しかったです。みなさんどうもありがとうございました。残りの日々を、有意義に過ごしたいと思います。

李 銹 洛

私は地球人です。地球人で、地球にある Formosa という所からきました。Formosa の意味は美しい宝島ということです。今の名前は台湾といます。高く美しい山と綺麗な川が宝島の大地をいろどっています。人間が遠い大陸から海を渡って、その未知の大地に渡り、綺麗な大自然の中で農業を始めました。そんな聖地で神様のような暮らしを送っていました。そして文明の発達や、世代の交代によって Formosa が有名になりました。しかし悲惨な運命もやってきて、戦争や移民拓殖などを100年間に経験しました。宝島の大自然の顔は変化しました。その未知の運命の中で次々成長して、今は世界が目にする、経済と工業の土地の顔に変わりました。



人間はいつも未知の世界を旅します。私も見知らぬ日本の中を旅して回りたいと思います。これは私の夢です。見知らぬ土地で見知らぬ人と言葉を交わす、そして、ふとしたきっかけで新しい友情が生まれる……。旅とは何もかも未知の世界なのです。そんな何が起こるかわからない未知の世界に私はあこがれるのです。

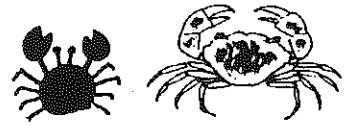
一口に旅といっても、いろいろなものがあります。例えば今、私は岐阜大学工学部精密工学科で勉強しています。これも勉学の旅だと思います。そのような旅は、ただ『楽しい』の一言に尽きます。新しく知り合いになった友人とおしゃべりしていると、勉学の道はとても愉快で、ついつい時間がたってしまい、もう3年になりました。

さて、途中で述べたように、『日本中を旅して回る』が私の夢です。旅は旅でも、だれも行かないような所を訪れる旅がしたいのです。

ところで、私は人生も旅の一つだと思います。そして、これが未知の世界への一番の旅だと思うのです。手探りで、一步一步進んでいく旅です。戻ることのできない旅です。何が起こるかわからないだけに、また大きな期待も抱いています。そして、この『人生』という旅が一番すばらしい旅だと思います。今、日本中のすばらしい場所を旅しながら、一步一步……。

このコーナーでは、留学生に自己紹介と共に、日本や自分の国について考えた事、感じた事を自由に書いてもらうことにしました。英語で書いてあるものを日本語に訳す場合もあります。

日本の夏休み



Takeshi C. Emoto (アメリカ)

私は夏休みに3週間の旅行をしました。まず最初に岡山県へ行っ、はっきり言うと何もみませんでした。ただ私の親戚がそこに住んでいるから休みに行きました。それに、もう何回も岡山へ行ったことがあります。

岡山(倉敷市)での2週間が終わったら、電車に乗って大阪のまた別の親戚の所へ遊びに行きました。2日後に大阪空港を出発して、韓国に行き6日間の旅をしました。クアンさんが案内してくれてよかったです。一人だけで行ってたら、ちょっと困ったと思います。雨がよく降ったけれど、これは私にとって温度が丁度よかったからそんなに困ることじゃなかったです。24日にまた日本に帰ってきて、27日からゼミがありました。夏休みは知かすぎるネ!

地坂勝美マリオ (ブラジル)

嬉しい! 夏休みだ! このチャンスは絶対逃さないゾ! 日本全国旅行をすると決めました。

7月20日に岐阜県笠松駅から始まり、東京に向かいました。夏休みに発売中の国鉄の青春キップを利用して電車で行きました。

東京で県費留学生と待ち合わせ、海外日系人協会が毎年夏に研修会を開くので参加しました。日系人協会では関東地方の見学をしました。フジフィルムの工場、モア美術館、富士山五合目、河口湖と昇仙峡です。それから更に、協会の企画による北海道東北研修旅行をしました。東京から船を利用し、文化面、社会面、それに祭り見学を含めた観光をしました。

鶴公園、阿寒湖、摩周湖、屈針路湖、美幌峠經由大函層雲峡、上川ボンモシリ、旭川、滝川、札幌、支笏湖、苫小牧、白老アイヌ部落、登別、昭和新山、洞爺湖、長万部、大沼公園、函館、青森ねぶた祭見学、浅虫で解散になりました。

この後、友達と十和田湖、盛岡、仙台、新潟、佐渡、金沢、能登、天の橋立、岡山、広島、宮島、博多、長崎、熊本、阿蘇山、西鹿児島、沖縄の那覇、石垣島、竹富島と西表島で終了しました。

岐阜に帰ってきたのは、8月29日でした。とても楽しい旅で良い思い出になりました。

Hla Kyi (ビルマ)

夏休み中、私は多くの場所には行きませんでした。しかし訪れた場所は私に大変大きな喜びを与えてくれました。

9月5、6日に、私の先生と学生、そして他の岐大の先生と山へ旅行しました。私達は3台の車で、高山市を目指して5時に岐阜を出発しました。それは私にとって早すぎる時間でしたが、約束の時間に間に合うようにしました。

高山のレストランで昼食をとり、休憩をしました。昼食後、ふもとにある温泉に行き、みんな一緒に風呂に入りました。とても楽しかったです。なぜなら、熱いお湯につかった後、とても気分がすっきりしたからです。夜は日本式の旅館に泊り、そこでも温泉に入りました。

次の朝、5時に山登りを始めました。始めはロープウェイに乗り、それから頂上を目指して登りました。頂上にたどりつく前に私は疲れてしまいましたが、頂上に登りついた時は、とてもすばらしい気分になりました。なぜなら、景色がすばらしかったからです。私は美しい山や、山の周りの景色を写真にたくさん撮りました。その日の3時に新穂高を発ち岐阜に向かいました。

山の印象は実にすばらしく、強いもので、今もはっきり思い出すことができます。

(原文 英語, 田尻 訳)

佐藤 マリサ (ベルー)

楽しい夏休みが終わりました。この夏休みは、私には大変な became になったと思います。遊ぶだけではなくて、日本の企業で実際の研修ができ、日本の会社の経営について勉強をしたので、大変勉強になったと思います。

でも、勉強ばかりしていただいただけではなく、横浜に遊びに行って、大変楽しいこともありました。この夏休みは、長く、そして短いものでした。

また、大学の講義が始まりましたから、がんばっています。

Kridiborworn Pattanachart (タイ)

8月は私の夏休みでした。1日から11日まで九州のホームステイ・プログラムに行きました。九州のホームステイは佐賀県でした。岐阜から佐賀まで遠いです。だから私は新幹線と電車に乗りました。全部で6時間半くらいかかりました。でもいろいろ町とか山とか海を見ることができました。大変きれいでした。

佐賀で、ホームステイの家族と友達に会いました。このプログラムは46人の留学生が、いろいろな日本の大学から来ました。4日間いました。佐賀の子供が遊びに来て、いろいろな場所を見に行きました。その後3日間は留学生と60人の日本の子供たちと鹿島市でキャンプをしました。キャンプが終わった鹿島でホームステイして、盆踊りに行きました。それからもう1回、佐賀市に帰りました。家族と一緒に遊んだり、盆踊りしたり、海に行ったりしました。11日に岐阜に帰りました。楽しかったです。

16日から31日まで、北海道ホームステイのプログラムに行きました。このプログラムは、東京から北海道までは船で2日間くらいかかりました。留学生はみんな北海道で、いろいろな町に分れてホームステイして、仕事をしたり、遊んだりしました。私のホームステイのうちは牧場でした。一日中仕事をしました。大変楽しいけれど疲れました。私は札幌、室蘭、登別などいろいろな場所を見に行きました。最後に函館に行きました。そこの家族はとても親切でした。たくさんきれいな場所に行きました。たくさんおいしい物を食べました。初めて温泉に入りました。特に函館では幸せでした。だから私は函館が一番好きです。プログラムが終わった時も、まだ岐阜に帰りたくありませんでした。

私の夏休みは、とても良かったです。日本の南から北まで行きました。たくさん場所を見て、たくさん友達に会い、たくさん日本語を習いました。すばらしい私の夏休みでした。

ホームステイ プログラムの紹介

河 地 和 子

国際交流室では、留学生の皆さんが日本の生活を体験できるようホースティプログラムのサービスをしております。昭和59年12月岐阜大学附属小学校の御父母の方においてホストファミリーを募り、昭和60年からサービスを開始しました。

当初20軒余りだったホストファミリーも現在は60軒をこえており、皆さん国際交流に関心のある親切な方ばかりです。交流室でサービスされているホームステイは、長期間のものではなく、夕食を共にしたり、週末に一泊したりという気楽なものです。家族と離れて遠い国で勉強している留学生に、たまには家庭料理を味わってもらったり、子供達と遊んでもらえればというもので、ホストファミリーの方にもこの主旨を御理解していただいています。ですから一度伺って、ホストファミリーの方と大変仲よくなり、その後も何かの折りに行ったり来たりというお付き合いが続いているというケースが多いのです。時には、岐阜市郊外のドライブに誘われたり、遠く奈良、長野の方まで旅行に誘っていただいたりした場合もあります。

いままでに約35名の留学生が、ホストファミリーを訪問しております。最多訪問は、1人の留学生が7軒の家を訪問してそれぞれ違った家庭の雰囲気を楽しんで来ています。

また、交流室では、全国各地からのホームステイプログラムの紹介をしており、参加したい留学生の手伝いもしております。今夏も佐賀県・北海道のプログラムに2人の留学生が参加して、とても楽しい思い出を作って帰って来ました。

このように、国際交流室では、関係者の奉仕的努力によって、異国で学ぶ留学生の岐阜大学における生活・勉学の良き思い出となるように、いろいろ計画しております。

最後になりましたが、今までに留学生を引き受けてくださいましたホストファミリーの方々へ深く感謝申し上げます。そして今後共岐阜大学の皆様の御理解と御協力をお願いします。

国際交流クラブの紹介

杉 山 里 美

国際交流クラブ(CIS)は、昨年4月に発足した若いクラブです。

現在部員は、4年生6人、3年生5人、2年生7人、1年生2人、院生1人、計21人から構成されていますが、実際活動できるのは3年生以下のメンバーです。学部別に見ると、教育学部が12人と半数以上を占め、農学部7人、工学部2人となっています。

現在クラブ員の3人が、アラスカ大学とサンディエゴ大学に留学しており、昨年も2人が留学しました。

私達は、主に留学生との交流を通して、豊かな国際感覚を身につけたいと思っています。他の国々の人と接することにより、その国々の文化、習慣、考え方などを知っていくのです。ここがESSなどとは異なるのです。そのために、各国のセミナーを開き、多くの学生の参加を願うのですが、うまくいきません。

また、例えばアフリカといっても、多くの、様々な言葉、文化、歴史を持った国があり、一つのものとしてとらえることはできないのです。

多くの学生たちに、幅広く世界に目を向けてもらいたいと思います。

インストラクターとして思うこと

後 藤 規 子

留学生が日本で生活するために必要な、ごく普通の日本語での会話ができるようにその手助けをする、これが私達インストラクターに与えられている役目です。

複雑で分かりにくい、けれども美しい私達の国の言葉を留学生におぼえてほしい、そして上手に使ってもらいたい。そう願いつついつも留学生と向きあいます。

交流室の日本語教育は初級・中級・上級の三つのクラスに分けられていますが、まったく白紙の状態から日本語に入っていく初級と異なり、中上級の場合はほとんどが漢字圏の国から来た学生であり、帰国後も何らかの形で日本語にかかわっていきたいという希望を持っているようです。

漢字が読めるということは、日本語を学ぶ上で有利ではありますが、日本へ来るまでの学習の方法はさまざまであり、独自に習得した知識がかえって妨げとなる場合があることも否定できません。

日本語学習についての要望もそれぞれに違い、文法を勉強したい、発音を重点的に、格調高い文章を書きたい、たくさんの言葉をおぼえたい、自由に会話ができるようになりたい、小説を読みたい、歴史を知りたい、というように次々に出てきます。

そして、テレビの画面にあふれる不思議なコトバ、学生達の間でとびかう若者コトバ、そして街角で耳にしてきたローカル色ゆたかな言葉なども授業に持ちこまれてきます。

テキストを使う勉強も勿論大事ですが、このような私達の守備範囲に入りきれない言葉に出会ったとき、正しい日本語ではないという理由で枠の外へ押し出してしまうことはできません。

毎日の暮らしの中で、目や耳から入ってくるさまざまな言葉を私達も理解した上で、基本となる正しい言葉を伝えなければならないと考えます。専門家ではないにせよ、教える側にあるものとして、日ごろ無意識に使っている言葉をふり返りながら、まず何よりも自分自身が正しいきれいな日本語のつかい手でありたいと自戒の思いを深くしているのです。

初級クラスを受け持って

北 川 光 世

留学生を対象とした日本語初級クラスのメソッドが確立され、去年の10月に来日した、日本語について白紙に近い留学生に、私達教える側は、試行錯誤も少なく快調なスタートをきることができました。それは藤掛教授とその研究室の学生により開発されたカリキュラムに従い、インストラクターと研究室の学生達のチームによって、6か月間をめどに行うというものでした。

一部学習過程を紹介しますと、まずある文章を構成している形容詞、名詞を教えます。その時、場面提示する絵カード、ビデオを使います。次に動詞に入り文章の成り立ちを覚えます。学習者は中国、韓国、東南アジア、アメリカからの留学生からなる8人程のグループですので、グループの利点をいかし発問、応答の方法、三人称の使い方等を相互に学び合うことができます。また、絵カードと単語カードをあわせたカードゲームにより習得した文章をすぐカードで並べてみるということもします。この時もお互いに教えあったり、ペアー活動で確認しあったりできますので、お互い初対面で異文化をもつ人達ですが、学習を通して、より仲良くなれたのではないのでしょうか。午後からは、習得した文章を日本語ワープロで打ち、復習します。

教室の外で出会った時など、日本語のあいさつ、あいづちが気軽にでてくる進歩の早さは、日本語環境の中での彼等の努力の結果なのでしょうか。いつも熱いまなざしで日本語を学ぶ留学生の目を見ていますと、私の方こそ刺激されます。日本語を通じ日本に興味を持ち、日本を好きになってくれたら……。私達一人一人身近な所で微力ながら、他国の人々と手をつなぎ、相互理解を深めたいと思います。

(資料 1)

留学生日本語・日本文化時間割

(61年10月現在)

	月	火	水	木	金
9:00					
10:30					
10:40					
12:10					
12:30					
13:20					
14:50					
15:10					
16:40					
1	及川—マイケル	田中の—カフィ 大野—シャー 平井—{マリサ {セシリア	田尻—カフィ 杉山—タン	河地—中級者 田中の—クララ	
2	田尻—マーク 後藤—金 及川—金N	脇田—{マリオ {セシリア 大野—シャー 平井—クララ	及川—ムバラク 田尻—マーク 後藤—{張華 {王 田中り—クララ 金N—鄭	古田—{ケイシー {鄭 {金N 大野—マリル— 北川—ニー	後藤—{金 {金N
	大橋—ニー		田中り—{張 {金N 毛利—マリサ	古田—謝	
3	田尻—チー 大橋—マリオ 脇田—李 江口—マリル—	河合による 日本文化の授業	田尻—上級者 後藤—金	脇田—ニー 河野—レオン 河地—シャー 大野—スジアント	平井—シャー 後藤—鄭 市岡—タン
4	田尻—マリル— 脇田—ケイシー		カラオケクラス		松村—タン

(資料 2)

岐阜大学外国人留学生受入れ氏名

(61年後期分)

• 協定大学からの特別聴講学生					
教育学部	W. A. フェアチャイルド	男	合衆国	61.10.1 ~ 62.9.30	
"	金川 聖子 セシリア	女	ブラジル	"	
• 中国政府派遣留学生					
教育学部	張 華	女	中 国	61.10.1 ~ 62.9.30	
• 文部省推薦 (国費) 研究生					
医学研究科	MIRBOD SEYED MOHAMMAD	男	イ ラ ン	61.10.1 ~ 63.3.31	吉川 博教授
工学研究科	LEE HOE CHOON	男	マレーシア	"	後藤宗弘教授
"	PANAYIOTOU SAVVAS	男	キプロス	"	中川建治教授
• 大学推薦 (国費) 研究生					
医学研究科	刘 沛	男	中 国	61.10.1 ~ 63.3.31	武藤泰敏教授
• 教員研修留学生					
教育学部	WINICHBOOT SUREEPORN	女	タ イ	61.10.1 ~ 63.3.31	松川禮子助教授
"	TANG, LAI CHAN	女	マレーシア	"	藤掛庄市教授
"	SUDJIANTO	男	インドネシア	"	高松政雄教授
"	鄭 聖 女	女	韓 国	"	藤掛庄市教授
"	RODRIGUEZ, SIERRA PEDRO	男	メ キ シ コ	"	野元世紀助教授
"	HORIKAWA, CLARA	女	アルゼンチン	"	松岡三良教授
農 学 部	金 光 洙	男	韓 国	"	葛谷康雄教授
• 私費外国人留学生					
工 学 部	金 俊 栄	男	韓 国	61.9.1 ~ 62.3.31	
"	趙 栄 新	女	中 国	61.10.1 ~ 62.3.31	

発 行 岐 阜 大 学 国 際 交 流 室
岐 阜 市 柳 戸 1 番 1
電 話 (0582) 30-1111 内 線 2380
編 集 高 橋 弘
田 尻 由 紀 子